

ASCI (Asian Society of Cardiovascular Imaging) 2017 に参加して

華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口隆義

皆様、こんにちは。華岡青洲記念心臓血管クリニックの山口です。6月1日(木)~3日(土)の3日間で開催された ASCI 2017 に参加してきました。ASCI はアジア圏における心血管イメージングに関する集会であり、以前に 2015 年のマレーシア開催に参加した際もレポートさせて頂きました。今年は日本開催ということで、三重大学の佐久間先生が大会長となり京都で行われました。

これまでも、何度か ASCI には足を運びポスター発表をしてきたのですが、今年は TOSHIBA MEDICAL の Workshop である Cutting Edge in Cardiac Imaging with CT and MRI "CT-FFR in Managing Patients with Stable Angina" の演者としての依頼がありました。私に与えられた講演内容は、"CT Scan Protocol for CT-FFR" ということで、東芝メディカルシステムズのワークステーションである Vitrea に搭載された新しい CT-FFR の撮影技術に関する話でした。Heart Flow 社が提供する FFR_{CT}とは異なり、オンサイトで解析が可能という事で、期待度が高く注目されている技術です。東芝 CT-FFR では、流体解析に加えて構造解析も行われるため 4phase の volume data を必要とします。そこで、今回は拡張中期から末期にかけての 4phase データの画質と心拍数との関係に加えて、slow filling の範囲での解析や、CT-FFR 値と血管位置との関係などを報告してきました。20 分の持ち時間ではありましたが、なんとか乗り切ることが出来ました。しかしながら、帰りにはいつ



も通り英語のスキルアップを胸に誓うものの、なかなか重い腰が上がらない今日この頃でございます。

せっかくなので、勿論聴講もしっかりさせて頂きました。CTによる冠動脈評価に関するセッションは少なく、全体的にはMRまたはCTによる心筋評価に関するセッションが多く組まれていました。虚血だけではなく心筋疾患も視野に入れるには、MRIによるLGEやCTによるLIEに加えてECVマップが直近の注目株といったところでしょうか。また、CTでの心臓ONE STOP SHOPPINGにも注目がああり、三重大大学のビデオライブも永澤さん（三重大大学の診療放射線技師さんです）の解説付きで楽しく拝聴しました。夜には、大会長招宴にもお招き頂き、舞妓さんの踊りなどを楽しむことが出来ました。

せっかくの京都という事で、丁度、ブラタモリで京都祇園の話をインプットしていたので、時間の合間で地形の確認などをしたり、抹茶かき氷を食べたり位は出来ました。京都って良いですね。実は、来月も日本心血管インターベンション治療学会で京都入りの予定ですので、どなたか良いお店を教えてください。



私と舞妓さん



永澤さんと舞妓さん